

2024年11月10日（主日礼拝）

■招詞 ヨハネの手紙一 4:9 「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。」

■礼拝の祈り

わたしたちの父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

今朝も、こうして礼拝をささげることができると感謝します。あなたの導きによってこの礼拝が整えられ、あなたの招きによってわたしたちに礼拝の心が備えられました。今こうして主につらなって一つとなる礼拝がささげられるのもすべてあなたの憐れみによるものであることを知り、感謝してあなたの御名を賛美いたします。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

今、あなたのみ前で心を静めて祈りの時を過ごしたいと願っています。この静かな心が、わたしたちの一日、一週間の生活の中に乏しく欠けていたからです。毎日の歩みにおいても、心静まって、あなたが神であられることから始めるべき一日一日であったはずですが、けれども、わたしたちはどれほどそのことを怠ってきたかと思わされます。静けさの中で御言葉を聞き、祈るべきであったのに、それを怠っていました。また、自分では心を静めたいと願っても、必ずしも思うようにはいかない状況におかれたこともあります。人間関係の思い煩い、病いで重くなった心と体、思うようにはいかない人生、日々の歩み。自分ではどうしようもないと思える出来事や状況にわたしたちは心が乱されます。けれども、そのような時にこそ、あなたを忘れるのではなく、あなたにより頼み、嘆き、信頼するべきだったのです。今も心乱れる思いがあります。けれども、どうかすべてを知り、すべてを治めておられる神よ、あなたの御前にこうして招かれたのですからそれらをすべて超えて、あなたを求める静けさを与えてください。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

この静けさの中で、干からびてしまったようなこの魂を、豊かなあなたの御言葉の潤いをもって養い治してください。一人ひとりになった仕方、あなたのみ前における静けさと祈りの喜びを教えてください。生きる力が必要なものに、あなたの力を聖霊によって与えてください。悩みの中にあるものには、その悩みに耐える確かな心と、解決の時を、必要ならば逃げる路を備えてください。さまざまなことを抱えきれず疲れ果ててしまう私どもを、どうかあなたが顧みてください。熱くもなく、冷たくもなく惰性で生きているようならば、どうかあなたの眼差しの中で、もう一度燃え立つような信仰をお与えください。あなたが、決してわたしたちを諦めず、救いの約束を守ろうとしてくださる方であることを信じさせてください。体の疲れ、自分の思いは弱いものです。けれども、あなたに与えられた確かな信仰の上にわたしたちが立っていることをもう一度確かにさせてください。この礼拝において、御言葉によって、あなたが信仰を確かにさせてくださる、ここでもう一度そのことを取り戻させてください。もう一度、信仰によって一歩、踏み出すことができますように。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

2024年11月10日（主日礼拝）

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<行事をお守りください>

本日はこの後、オリーブマーケットとカフェを行います。フィリピンの子供たちを支えたいとの願いをもって過ごします。わたしたちに豊かに与えられたものを分かち合う喜びを教えてください。また今週の土曜日には同じ思いでチャリティ・コンサートを行います。近隣の人もまたコンサートに来て同じ思いを合わせることができるようになってください。演奏者一人ひとりに特別な祝福をお願い致します。これらの行事を担う奉仕者の業をかえりみてください。あなたの御用のためにする奉仕を祝福してください。

<伝道礼拝の導きを求めて>

次週は伝道礼拝です。改めてこの機会を福音を宣べ伝える時として用いてください。御言葉を取り次ぐ川嶋牧師を助け、導き、祝福してください。そして、御言葉を聞いたわたしたち一人ひとりもまた伝道者として主の救いの喜びを語る者としてください。

<世において重荷を負っている者を助けてください>

心や体の病により痛みや困難を覚えている者、重荷を負っている者を助けてください。わたしたちの心や体は弱いのです。あなたの支えなしには一歩も歩むことはできません。病気の治療は与えられています。しかし、病んでいるところから本当に癒やしてくださるのはあなたの御言葉だけです。主イエスがともに歩んでくださっている、そのことを支えとする信仰をお与えください。

自分の事に関する重荷を負っている者ばかりではありません。家族、友人の重荷をともに背負っている者がおります。あなたが、仕えるようにと命じられたのでそうしているのです。どうか、この者たちを顧みてください。このような者にこそ主がともにいてくださる。重荷を負ってくださると信じます。

<わたしたちに本当に必要なものをお与えください>

祈りはつきません。願うものがたくさんあるからです。自分を満たすもの、また人のためにも執り成しを祈ります。しかし、すべてをしておられる主よ、あなたがわたしたちに最も必要なものはあなたがお存じです。どうか聖霊をお与えください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。